

「水防活動支援情報共有システム」が国土技術開発賞で入賞(8月3日)



○国総研では、水防活動におけるICT技術の活用拡大に向けて研究開発に取り組んできました。この度、水害研究室にて開発した「水防活動支援情報共有システム～気候変動下の流域治水の支援技術～」が国土技術開発賞に入賞し、令和4年8月3日に表彰されました。

「国土技術開発賞」は、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚並びに建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設産業に係わる優れた新技术を表彰するものです。
(国土技術研究センターHP <https://www.jice.or.jp/review/awards>)

＜水防活動支援情報共有システムの概要＞

- 水防活動を担う水防団・自治体等が、水防活動状況と水防活動の現場で必要な情報をリアルタイムに情報共有・閲覧できるシステム
- WEBページ形式で、水防活動の活動位置や現場の写真を地図上で一元的に共有するとともに、対応の履歴を時系列で自動整理
- 動的情報(雨量、河川水位、内水の浸水推定区域)や、静的情報(重要水防箇所や避難所の場所等)を地図上に表示

➡ 情報共有までの時間が大幅に短縮され、情報の共有、判断、指示、活動の迅速化が期待

